

～微生物農法の推進と参加型循環社会を目指して～

<基本情報>

- 所在地：長野県上高井郡小布施町
- 取組開始：平成29年

<経営概要>

- 経営面積：52a
- 主要作物：玉ねぎ、とうもろこし、丸なす、りんご、もも、プルーン



<環境負荷低減に資する取組>

- 果樹は減農薬栽培、野菜は農薬・化学肥料不使用の栽培に取り組む。果樹では若い枝を使う切り上げせん定を行い、樹を健全に保つ減農薬栽培を実践。
- 土着微生物を採集し培養した発酵液から、微生物資材を製造し、土づくりと作物の生育促進に活用。
- 野菜残さや落ち葉を利用した堆肥や、稲わらや米ぬか、落ち葉を利用した踏み込み温床による苗床を自作。畜産農家に野菜残さ等を飼料として提供し、畜産堆肥の提供を受けるなど、地域内での資源循環にも取り組んでいる。



<効率的な生産に向けた取組>

- 福岡県の農業者が作成した、針金の熊手を改造した「ハウキング」という道具を使用。自身の畑の形状や使いやすさに合わせて改良を施し、除草作業の負担軽減と除草剤不使用に取り組む。
- 畑は1年2作（春・秋野菜）でローテーションを組み、限られた面積で効率的な生産を行っている。

<地域内外・他業種と連携した安定出荷・販路確保の取組>

- 地域支援型農業の実践のため、畑を開放して一般住民等の労力提供（除草作業など）の対価として農産物を提供。
- 自然食品の販売や料理教室などを行っている静岡県の会社に野菜や果物を販売するほか、社員に農作業を手伝ってもらったり、料理教室に有機野菜や果物を提供する等の交流を図る。
- 講師を招き、シードバンクと自家採種についての勉強会を開催。有用な野菜種子の安定的な供給体制の確立を目指す。

<地域内外の消費者等への情報伝達の取組>

- 町内外の市民を対象に、微生物農法による家庭菜園教室を開催。SNS等も活用し、理念や活動の情報を発信。
- 野菜の収穫などの農作業体験や、採れた農産物をすぐに味わう実食のイベントを開催し、消費者の有機農業に対する理解を図っている。



<地域の小学生への食育活動>

- まちづくり委員会の環境を考える部会の活動として、町の小学生に対し、野菜の残さや落ち葉などを用いた堆肥作り、伝統野菜（小布施丸なす、小布施辛味大根等）を栽培する食育活動を行う。令和4年には小布施丸なすを学校給食に提供。

